科　　目　　名
機械工学特別講義Ⅰ **Special Lecture for Mechanical Engineering Ⅰ**

3年　後期　2単位　選択

吉良　章夫・東町　高雄
園田　計二・小野　長門
八坂　三夫・白本　和正
後藤　英一・齊藤　弘順
河瀬　忠弘・森　昭寿

概　　要

卒業研究は入学以後3年間に学んだ機械工学の専門知識を総合的に学習する上で非常に重要であると同時にチームを組んでチームメンバーと協力しながら成果を上げていくという言わば実社会での OJT（On the Job Training）に相当するものである。また昨今の厳しい就職事情は3年次からの積極的な就職準備を余儀なくしている。そこで、本講義では4年次の卒業研究を充実したものにすべく、その予備知識を習得させることを目的に、機械工学科の各研究室を1週ずつまわり、参加型少人数教育を行う。つまりプレ卒研として位置付け、学生一人一人の進路決定に関し意識向上を図る。

目　　標

1．卒業研究について研究室での生活や教室での講義とは異なる研究室のゼミナール形式の指導形態について認識する。
2．就職・大学院進学等自分の進路について熟考する。

授業計画

①　　講義の主旨説明および受講時の注意事項（全員集合して教室で受講）担当は担任
②〜⑪　機械工学科の全卒業研究の一部をプレ卒研として体験学習させる。
　　学生は10班に分かれて各研究室を1週ずつ体験する。
⑫〜⑭　キャリア教育（自己分析講座、SPI テスト、一般常識テスト）
⑮　　定期試験（小論文）

授業方法

上記の通り、小グループに分かれて各研究室でのプレ卒研を順次行い、その後学生各人に総括を行わせる。

学習到達度の評価

1．大半が少人数教育であるので、大いに学生の参加を促すとともに学生との対話から卒業研究や進路についての熟考の程度を推し量る。
2．学生各人による講義の総括として提出されるレポートおよび定期試験の小論文から本講義の目標の達成度を判断する。

評価方法

出席率、各研究室の教員から出される課題の提出状況、総括としてのレポートならびに定期試験における小論文（文章表現力）を総合的に評価する。

教　　材

必要に応じてプリントを配布する。教員によっては別途指示する場合もある。

履修上の注意

・必修科目と同様に位置付けられているため、必ず受講すること。
・遅刻・無断欠席厳禁。